

「緊急地震速報講習会・展示会 2008 東海」報告

平成 20 年 12 月 4 日（木）、5 日（金）に愛知工業大学八草キャンパスにおいて、企業および市民向けの標記講習会・展示会を開催しました。主催は、「緊急地震速報講習会・展示会 2008 東海実行委員会(特定非営利活動法人リアルタイム地震情報利用協議会「REIC」、事業継続対策コンソーシアムほか)」であり、日本地震工学会も主催者の一員として参画しました。

本行事は、講演会（基調講演、一般公演）、出展団体による緊急地震速報システムの導入・稼働実例紹介、BCM/BCP 講座で構成されています。では、基調講演として「緊急地震速報を真の地震防災に活かすために（愛知工業大学入倉教授）」、「企業や住民を防災行動に誘導するには（名古屋大学福和教授）」についてご講演いただきました。では、出展団体より、最新の緊急地震速報に関する技術紹介や実演を行っていただきました。では、「BCP における地震防災対策の考え方」、「初動・復旧対応の検討方法」および「BCP の検討」をテーマとした実務者向けの講習をしていただきました。各講師の方には体験談も交えた貴重なご講演とともに、これまで予知が困難であった地震に対し、昨年わが国が世界に先駆けて導入した緊急地震速報システムを、どのように活用するかについてわかりやすく解説していただきました。

当講習会の開催地である愛知県は、東南海地震の発生確率が今後 30 年以内に 60%以上との試算もあります。そのため、企業、市民および行政などを含めた多数の参加があり、非常に盛況な講習会・展示会となりました。遠方よりご来場いただいた参加者の方々、会場でお手伝いいただいた関係者や後援の方々、有益な講演をしていただきました講師のみなさまに心よりお礼申し上げます。



福和教授の基調講演



講演会の状況



緊急地震速報の紹介と実演（展示会）



出版物の展示の様子

（文責：事業企画委員会 独立行政法人原子力安全基盤機構 中村 英孝）